

脊椎外科

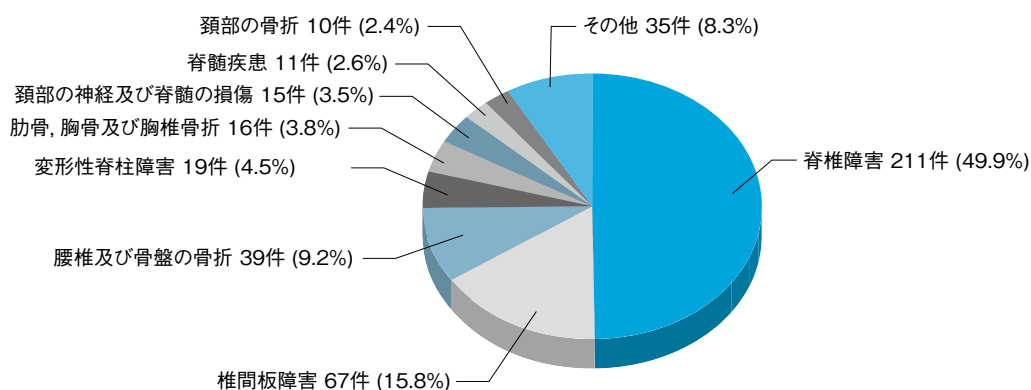
1. 概要

脊椎外科は2005年4月1日より院内標榜科として新設された。現在、脊椎外科医は吉原永武（部長）、岡田裕也の2人であり、整形外科スタッフの協力を得ながら診療を行っている。年間200件程の手術治療を行っているが、頸髄症、脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアが脊椎外科における3大疾患であり、手術例のほとんどを占める。稀な疾患においては、名古屋大学整形外科脊椎グループと連携をとりながら、治療を行っている。2014年から手術室にO-arm CTとナビゲーション機器を導入し、より安全性を向上させた手術が可能となっている。近年、高齢化に伴う骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折に対するセメント治療（BKP）が全国的に行われるようになり、当院でも導入を始めた。全身麻酔が必要であるため、手術枠の問題で、まだ数は少ないが、今後積極的に行っていく治療になると考える。

（部長 吉原 永武）

2. 新規登録疾患

総数：423件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
脊椎障害	脊柱管狭窄(症)	91	M4806
	その他の脊椎症	59	M4782
椎間板障害	その他の明示された椎間板ヘルニア	61	M512
腰椎及び骨盤の骨折	腰椎骨折	36	S3200
変形性脊柱障害	脊椎すべり症	12	M4316
肋骨, 胸骨及び胸椎骨折	胸椎骨折	14	S2200
頸部の神経及び脊髄の損傷	脊髄のその他及び詳細不明の損傷	15	S141
脊髄疾患	脊髄疾患, 詳細不明	9	G959
頸部の骨折	頸部の骨折, 部位不明	5	S1290

3. 活動報告

(1) 主な対象疾患

腰椎椎間板ヘルニア 腰部脊柱管狭窄症 頸椎症性頸髄症 腰椎迂り症・分離症 頸椎椎間板ヘルニア 後縦靭帯骨化症・黄色靭帯骨化症・黄色靭帯石灰化症 リウマチ脊椎 透析脊椎 脊髄腫瘍・脊椎腫瘍 脊椎感染症 脊椎外傷 その他

(2) 手術実績

術式	件数(件)
頸椎椎弓形成術	41
頸椎椎間孔拡大術	3
頸椎前方除圧固定	5
頸椎後方固定術	14
胸椎除圧固定	1
胸椎椎弓切除	10
椎間板ヘルニア摘出	19
椎弓切除(腰椎除圧術)	54
脊椎固定術	50
胸腰椎前方固定	6
胸腰椎後方固定	17
胸腰椎前方後方同時固定	1
脊椎脊髄腫瘍	7
その他	11
計	239

学会発表（医局）

<脊椎外科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	胸腰椎移行部の破裂骨折に対する前方後方固定術の中期成績	筆頭演者	岡田 裕也	第27回日本脊椎インストウルメンテーション学会	東京都	2018/9/29	S